

財政事情

平成26年11月版

市では、「大網白里市財政事情の作成及び公表に関する条例」に基づき、皆さんから納めていただいた税金等がどのように使われたか、また、使う予定なのかを知っていただくために、『財政事情』を年2回（5月と11月）公表しています。今回は、平成25年度決算の概要と、平成26年度上半期（4月～9月）の収支状況、また、平成25年度の健全化判断比率と資金不足比率についてお知らせします。

問財政課財政班 ☎ (70) 0310

平成25年度会計別決算

会計名	歳入決算額		歳出決算額		
	H25	H24	H25	H24	
一般会計	14,581	13,540	13,919	12,928	
特別会計	国民健康保険	6,109	5,851	5,948	5,728
	後期高齢者医療	384	376	383	375
	土地取得事業	1	1	1	1
	公共下水道事業	1,910	1,105	1,873	1,072
	農業集落排水事業	140	146	137	135
	介護保険	3,410	3,284	3,348	3,216
	介護サービス事業	19	19	17	17
	土地区画整理事業	266	335	212	208
合計	26,820	24,657	25,838	23,680	

※合計に合わせて一部の会計において切上げ・切捨ての処理を行っています。

区分	決算額	
	H25	H24
ガス事業収益	670	684
ガス事業費用	653	651
資本的収入	2	23
資本的支出	114	120

区分	決算額	
	H25	H24
病院事業収益	2,255	2,225
病院事業費用	2,238	2,187
資本的収入	108	98
資本的支出	208	163

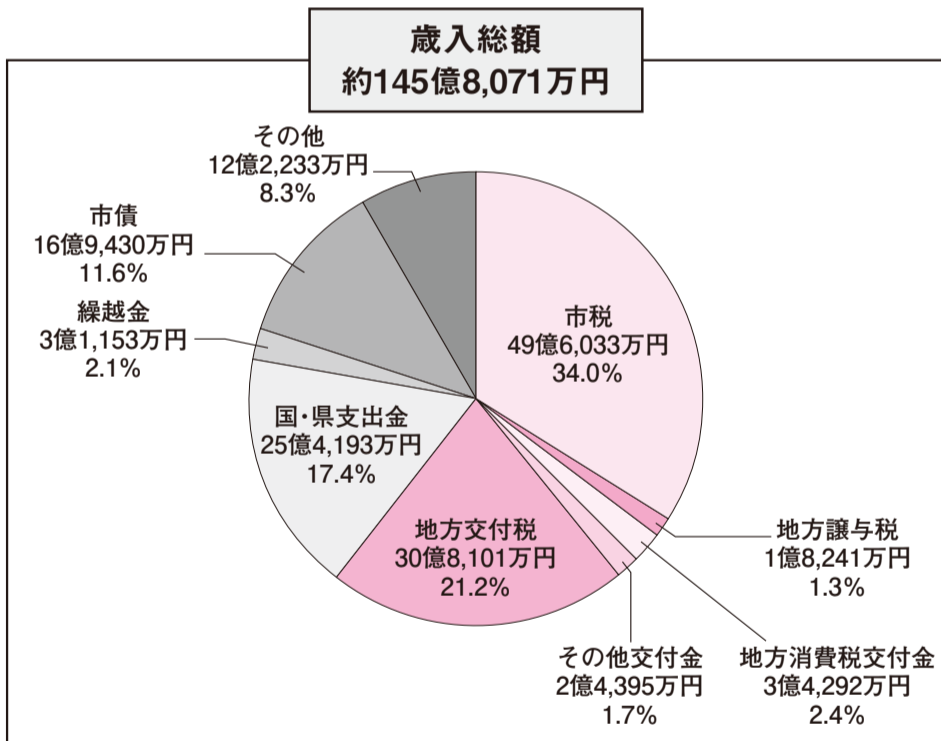
平成25年度は、会計の数は一般会計と8つの特別会計の9会計で、歳入決算額268億2,020万円、歳出決算額258億3,846万円でした。

このうち、一般会計の決算額は、市制施行により通年化した、生活保護費や児童扶養手当の増加に加え、学校の耐震改修や中央公民館耐震改修などの事業実施により、平成24年度に比べて増額となっています。また、国民健康保険や介護保険特別会計は、給付費が依然として伸び続けているため、前年度と比べ増額となっています。

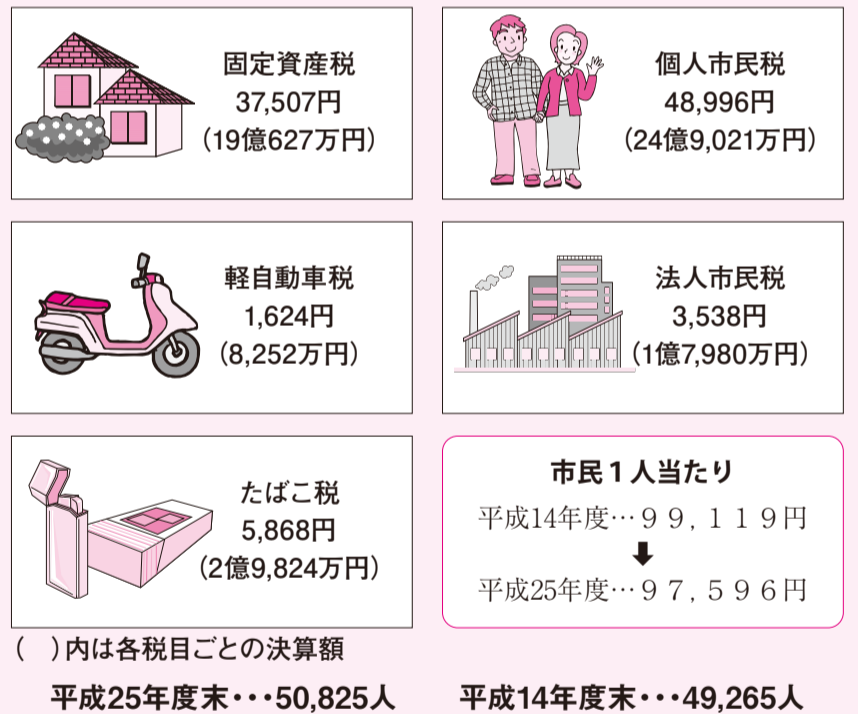
また、国の補正予算を受けて、平成25年度に前倒して予算計上を行った白里中学校等の耐震改修事業の費用など、一般会計をはじめ、2つの特別会計とガス事業会計で、約3億3,800万円の事業費について平成26年度へ予算の繰越しをしています。

平成25年度一般会計決算の内訳

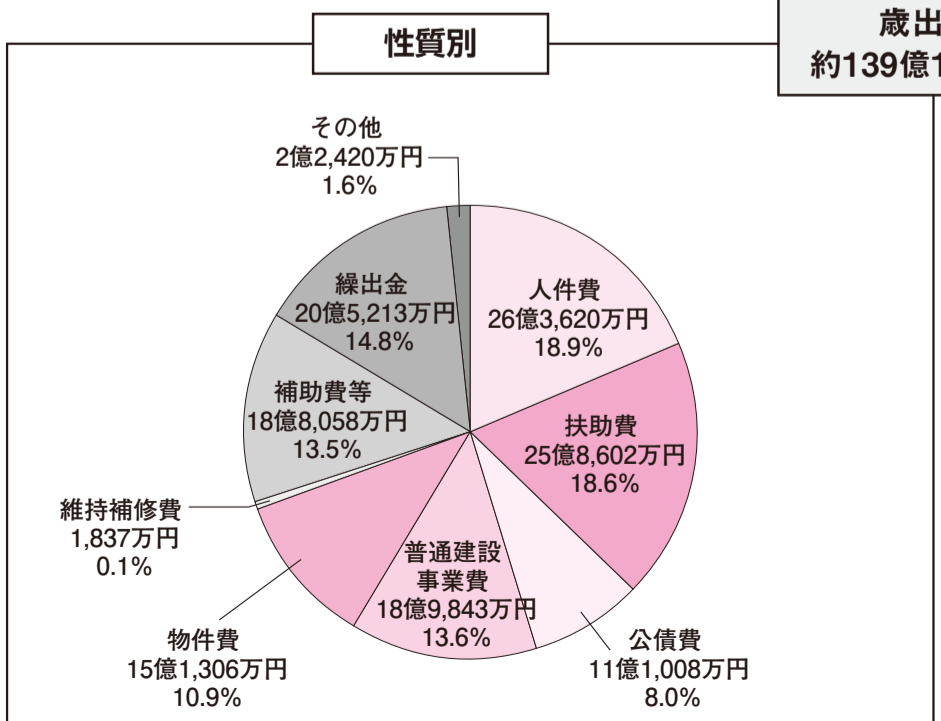
一般会計の内訳



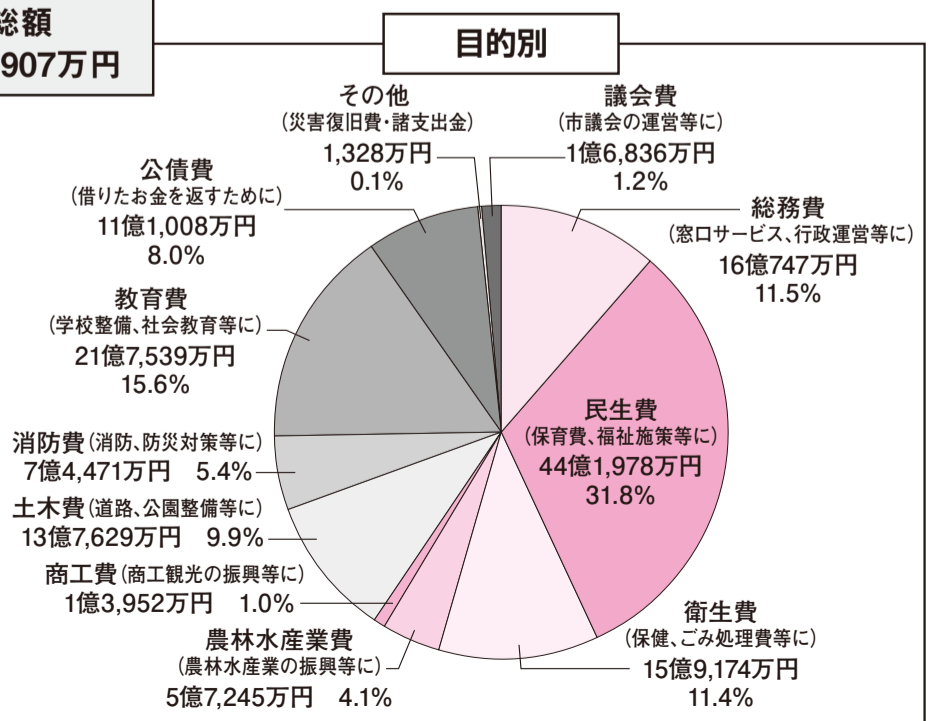
市民1人当たりの市税負担額



性質別

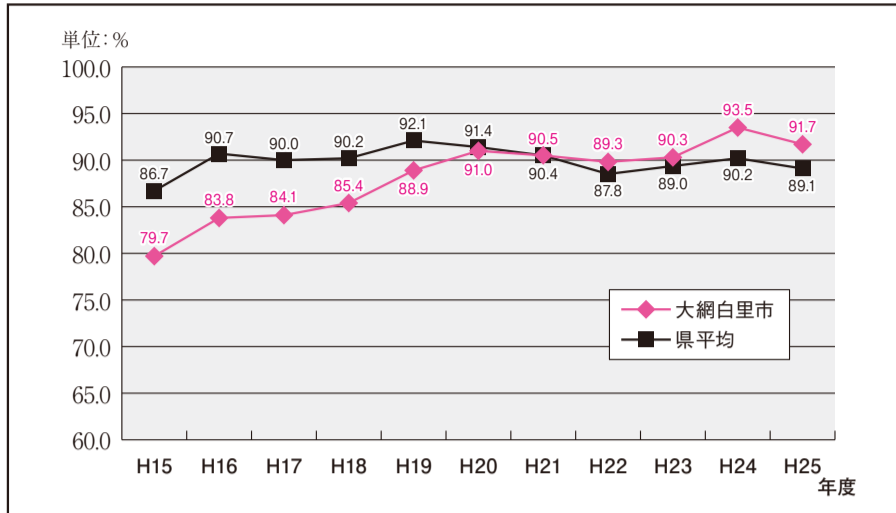


目的別



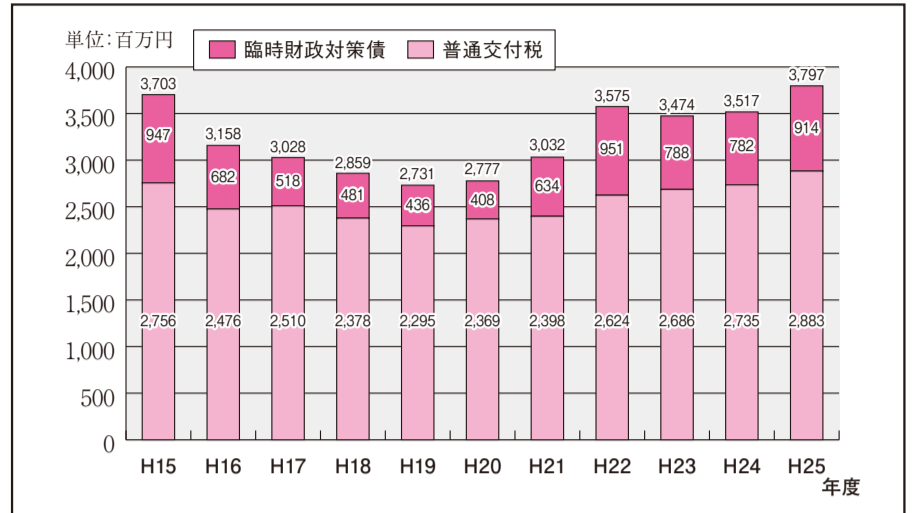
経常収支比率の推移(普通会計)

経常収支比率とは、毎年固定的に支出される経費に充てられた一般財源の割合を示す指標で、この比率が高いほど財政運営上の自由度が低くなると言われています。平成25年度は、経常一般財源となる市税等の増額に伴い、経常収支比率が1.8ポイント好転し、91.7%となりました。



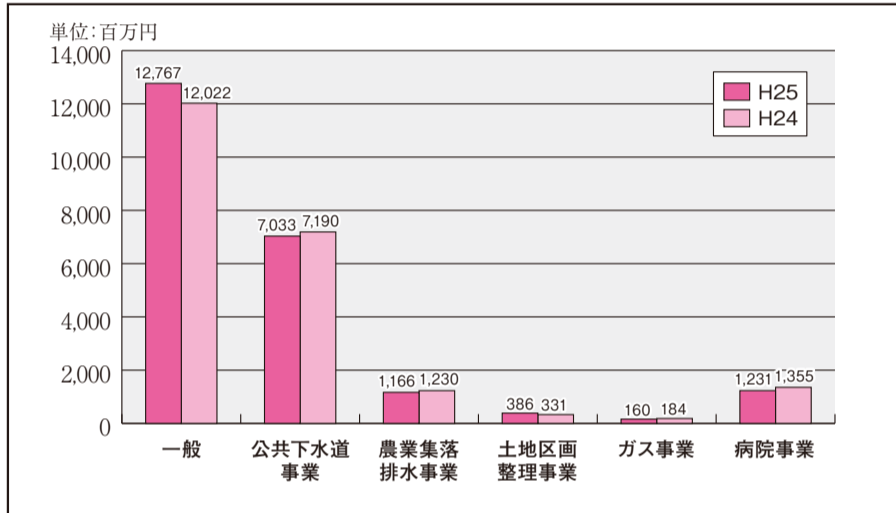
普通交付税等の推移

平成25年度の普通交付税は、臨時財政対策債(制度上、普通交付税の一部を市債に振り替えたもの)を加えた実質的な額で、約37億9千7百万円となり、普通交付税は6年連続で増額、臨時財政対策債は約1億3千2百万円の増額となりました。



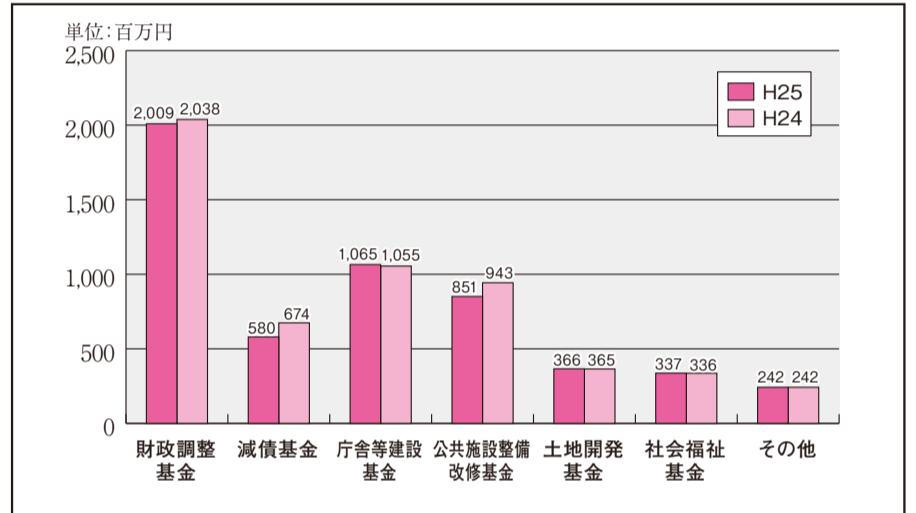
借入金残高の状況(全会計) H25年度とH24年度の比較

平成25年度末の借入金残高は、全会計合計で約227億4千3百万円となり、前年度と比べ、約4億3千1百万円の増額となりました。小学校耐震改修事業や中央公民館大規模改修工事の完了により平成25年度の借入額が増加したためです。



基金現在高の状況(全会計) H25年度とH24年度の比較

平成25年度末の基金現在高は、約54億5千万円です。平成24年度末と比較すると、合計で約2億3百万円の減額となりました。



平成26年度一般会計・特別会計上半期収支状況

(千円、%)

会計名	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
一 般	14,465,990	6,457,647	44.6	5,191,496	35.9
特別会計					
国民健康保険	6,182,348	1,987,997	32.2	2,330,932	37.7
後期高齢者医療	414,520	144,697	34.9	86,295	20.8
土地取得事業	548	508	92.7	0	0.0
公共下水道事業	1,727,623	177,038	10.2	483,417	28.0
農業集落排水事業	141,531	11,695	8.3	62,159	43.9
介護保険	3,699,739	1,469,397	39.7	1,430,653	38.7
介護サービス事業	18,123	6,203	34.2	8,038	44.4
土地区画整理事業	211,723	23,037	10.9	64,950	30.7

平成26年度公営企業の状況(8月31日現在)

○ガス事業

区分	8月	8月末累計
調定戸数	11,209戸	(※)56,028戸
販売量	329,520m ³	2,697,535m ³
平均使用量	29.4m ³	48.2m ³
平均売上額	2,814円	4,181円

※4～8月延べ戸数

科目	予算現額(千円)	収入・支出済額(千円)	収入・執行率(%)
ガス事業収益	911,520	254,541	27.9
ガス事業費用	910,828	177,200	19.5

○病院事業

区分	患者数(8月末累計)	1日平均患者数
入院	11,065人	72.3人
外来	27,469人	261.6人

科目	予算現額(千円)	収入・支出済額(千円)	収入・執行率(%)
病院事業収益	2,353,655	680,344	28.9
病院事業費用	2,342,819	788,280	33.6

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、平成25年度決算に基づく「健全化判断比率」を算定したところ、いずれの指標におきましても早期健全化基準を下回る数値となりました。

(1)実質赤字比率…一般会計等の実質赤字の標準財政規模(※)に対する比率
 (2)連結実質赤字比率…全ての会計の実質赤字の標準財政規模に対する比率
 (3)実質公債費比率…公債費及び公債費に準じた経費の標準財政規模に対する比率
 (4)将来負担比率…一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

※標準財政規模…地方公共団体が通常収入されるであろう経常一般財源の規模を表すものです。

また、公営企業会計における「資金不足比率」を算定したところ、資金不足の発生した公営企業はありませんでした。

平成25年度決算に基づく健全化判断比率

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
大網白里市比率	- (-)	- (-)	10.2%(11.1%)	56.6%(55.4%)
参考				
早期健全化基準	13.42%	18.42%	25.0%	350.0%
財政再生基準	20.00%	30.00%	35.0%	-

・実質赤字額、連結実質赤字額は発生していないので、「-」と記載
 ・()内は前年度数値

平成25年度決算に基づく資金不足比率

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準	備考
ガス事業会計	- (-)	20.0%	剰余額 392,067千円
病院事業会計	- (-)	20.0%	剰余額 345,427千円
公共下水道事業特別会計	- (-)	20.0%	実質収支額 13,490千円
農業集落排水事業特別会計	- (-)	20.0%	実質収支額 3,306千円

・資金不足額は発生していないので、「-」と記載
 ・()内は前年度数値

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}}$$